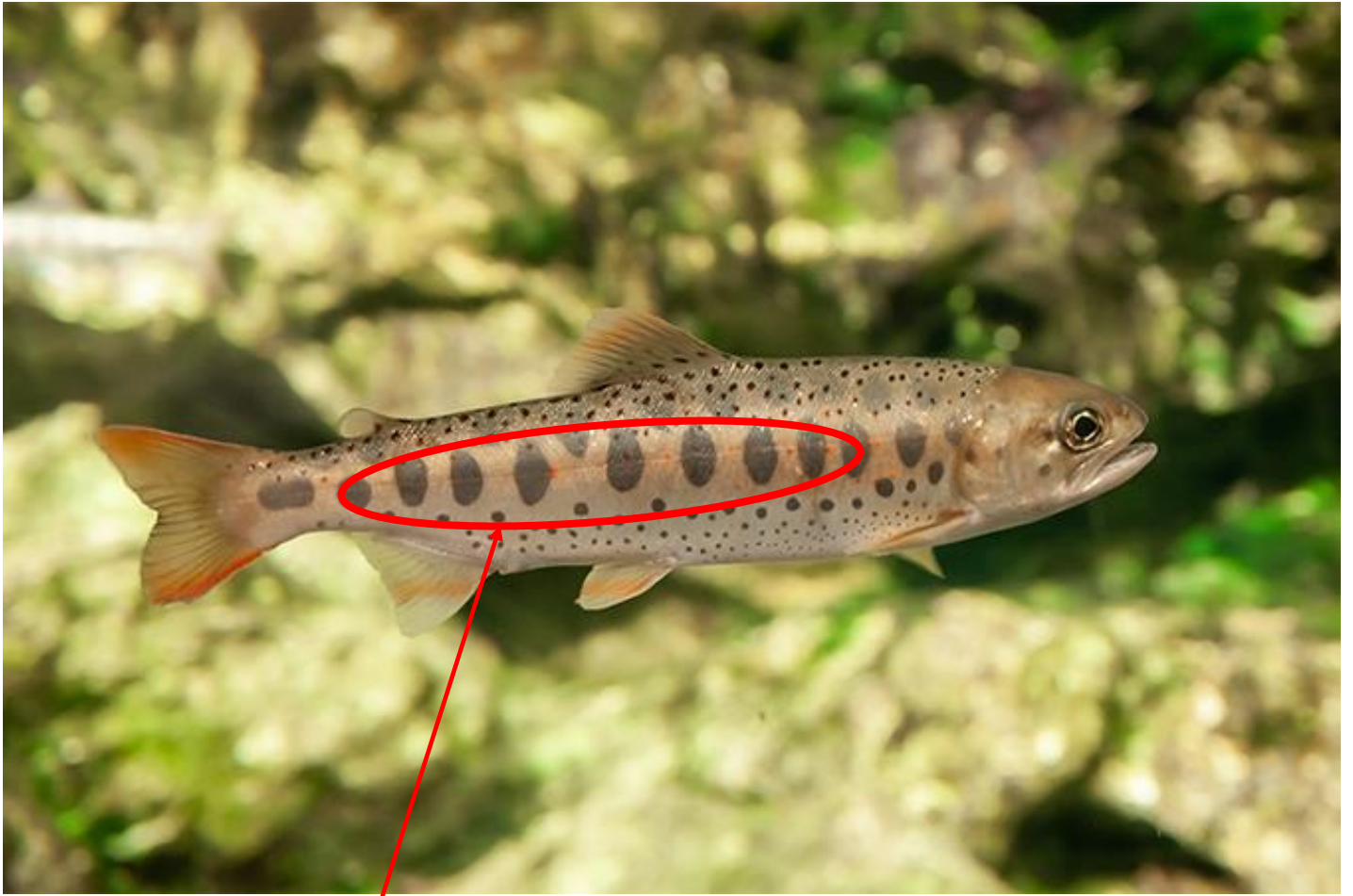


ア マ ゴ



かんとう にし やま けいりゅう しそく いっしょう かわ す
関東より西の山の溪流に生息している。一生を川で過ごすものを
アマゴという。うみ で 川に 戻るものをサツキマスという。アマゴの
おお せいだい
大きさは成体で30cm～50cmほど。サツキマスは60cmを越える。
たいそく よ だえんけい はんもん なら えさ こがたぎよるい
体側にはパーマークと呼ばれる楕円形の斑紋が並ぶ。餌は、小型魚類
こうかくるい こんちゅう ようちゅう た どうぶつしょくせい
や甲殻類、昆虫や昆虫の幼虫などを食べる動物食性である。

たんぱく み やわ ほね この さんそん しょくよう ようしょく
淡白な身や柔らかい骨が好まれ、山村では、食用として養殖され
ていることも多い。
おお